

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公開番号】特開 2014-153621 (P2014-153621A)
 【公開日】平成 26 年 8 月 25 日 (2014.8.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-045
 【出願番号】特願 2013-24681 (P2013-24681)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 0 5

G 0 3 G 9/08 3 6 5

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザー光に対する光吸収率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザー光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザー定着方法。

【請求項 2】

前記赤外線吸収剤の凝集体の体積平均粒径が、1 nm 以上 1 0 0 0 nm 以下の範囲である請求項 1 に記載のレーザー定着方法。

【請求項 3】

前記特定波長が、波長 7 0 0 nm 以上 1 0 0 0 nm 以下の範囲にある請求項 1 又は 2 に記載のレーザー定着方法。

【請求項 4】

結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザー光に対する光吸収率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザー光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザー定着装置。

【請求項 5】

帯電された像保持体の表面を露光して静電潜像を形成する潜像形成手段と、

結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザー光に対する光吸収率が低下するトナーを含む現像剤により前記静電潜像を現像して前記像保持体上にトナー像を形成する現像手段と、

前記トナー像を被転写体に転写する転写手段と、

前記被転写体に特定波長のレーザー光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着する定着手段と、

を備えた画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記目的を達成するために請求項 1 に記載の発明は、結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸収率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザ定着方法である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 4 に記載の発明は、結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸収率が低下するトナーを用いて形成されたトナー像が転写された被転写体に対し、前記特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着するレーザ定着装置である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

請求項 5 に記載の発明は、帯電された像保持体の表面を露光して静電潜像を形成する潜像形成手段と、結着樹脂中に赤外線吸収剤が凝集分散されてなり且つトナー溶融後に特定波長のレーザ光に対する光吸収率が低下するトナーを含む現像剤により前記静電潜像を現像して前記像保持体上にトナー像を形成する現像手段と、前記トナー像を被転写体に転写する転写手段と、前記被転写体に特定波長のレーザ光を照射して前記被転写体上に前記トナー像を定着する定着手段と、を備えた画像形成装置である。